



2027年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年6月12日

上場会社名 株式会社バリューゴルフ 上場取引所 東
 コード番号 3931 URL <https://corp.valuegolf.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 水口 通夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 渡辺 和昭 (TEL) 03-6435-1535
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年1月期第1四半期の連結業績（2026年2月1日～2026年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年1月期第1四半期	1,191	△0.9	21	19.6	16	△14.1	18	116.8
2026年1月期第1四半期	1,202	19.2	18	△42.2	18	△29.1	8	△23.5

(注) 包括利益 2027年1月期第1四半期 13百万円 (62.7%) 2026年1月期第1四半期 8百万円 (△25.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年1月期第1四半期	10.14	—
2026年1月期第1四半期	4.68	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年1月期第1四半期	3,266	1,041	31.8
2026年1月期	3,184	1,073	33.6

(参考) 自己資本 2027年1月期第1四半期 1,039百万円 2026年1月期 1,070百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年1月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2027年1月期	—	—	—	—	—
2027年1月期（予想）	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年1月期の連結業績予想（2026年2月1日～2027年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	13.0	220	314.1	190	384.5	110	—	60.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 — (社名) —、除外 — (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年1月期1Q	1,807,000株	2026年1月期	1,807,000株
② 期末自己株式数	2027年1月期1Q	191株	2026年1月期	191株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年1月期1Q	1,806,809株	2026年1月期1Q	1,806,809株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2026年2月1日～2026年4月30日)におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にあります。先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、一方で中東情勢の緊迫化による原油価格の高騰等、家計や企業収益に対する下押し要因の影響を注視する必要があります。

ゴルフ事業を取り巻く環境におきましては、天候不順や燃料費等の高騰によるプレー料金の高止まり・ゴルファーの高齢化が影響し、ゴルフ場利用者がやや減少傾向となっております(一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会調査)。一方で韓国など東アジア近隣諸国のゴルファーの誘致や女性・ジュニア層の開拓等、各ゴルフ場が様々な集客策を実施し顧客基盤の多様化を図っております。

トラベル事業を取り巻く環境におきましては、訪日外客数が2月3,466千人(前年同月比6.4%増)、3月3,618千人(前年同月比3.5%増)、4月3,692千人(前年同月比5.5%減)となりました。昨年に続き2年連続で4月までの累計で1,400万人を突破しております(日本政府観光局「JNTO」)。一方、出国日本人数は2月1,093千人(前年同月比7.4%減)、3月1,519千人(前年同月比6.7%増)、4月1,042千人(前年同月比8.4%増)となりました。出国日本人数は徐々に回復しているものの航空券代の高騰や円安の影響、諸外国の物価高が要因により、引き続き回復に期間を要しております(日本政府観光局「JNTO」)。

このような経営環境の下、当社グループは売上高の拡大及び収益の強化を図るべく、各事業において新規案件の獲得やサービス品質向上に取り組んでまいりました。引き続きスピード感を重視し更なる企業価値向上に注力してまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,191,501千円(前年同期比0.9%減)、営業利益21,656千円(前年同期比19.6%増)、経常利益16,303千円(前年同期比14.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益18,329千円(前年同期比116.8%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。なお、セグメント別の業績は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む売上高に基づき記載しております。

(ゴルフ事業)

ゴルフ事業におきましては、ASPサービス『1人予約ランド』の会員数が引き続き堅調に推移し、2026年4月30日時点では126.7万人(前年同期比7.6%増)と増加を続けております。引き続きゴルフ場における1人予約のガリバーとして今後もより多くのユーザーから支持されるサービスとなるよう、更なる機能追加・改善を続けてまいります。

また『リピ増くん』及び『リピ増くんDX』の新規受注獲得を鋭意進めてまいりました。特に『リピ増くんDX』は、ゴルフ場経営のDX化を推進することで日々の運営の省力化・効率化に貢献するサービスとして導入後のゴルフ場から好評を得ております。引き続き、AIを活用したデジタルマーケティングによる集客支援等、ゴルフ場の経営課題を包括的に解決するサービスとして機能の拡充を進めてまいります。

ECサービスにおいては、円安の影響を受け海外クラブの輸入価格が高止まりしており、日本モデルや利益率の高い自社オリジナル商品の取り扱いを更に拡充し販売を強化しております。また新たな取り組みとして、株式会社ノアと協働し、自社ECサイトでの販売強化に取り組んでまいりました。併せて、AIを活用した適正在庫のコントロールを通じて原価低減・販管費の削減を更に進め、利益増を実現いたしました。

レッスンサービスにおきましては、バリューゴルフ大崎、ジープーズゴルフクラブ浦安 by ValueGolfともに当期も会員数が堅調に増加しております。顧客ニーズに応え顧客満足度を向上させるべく、新規サービスの提供・ラウンドレッスン・ゴルフ合宿等イベントの実施を積極的に行ってまいりました。今後も施設の近隣企業への営業活動、地域新聞への出稿、自社HP広告とWEB広告、SNSを活用し積極的な情報発信を続け、顧客の獲得に努めてまいります。

以上の結果、売上高829,286千円(前年同期比7.9%減)、営業利益130,506千円(前年同期比10.7%増)となりました。

(トラベル事業)

トラベル事業におきましては、昨年11月以降、中国による渡航自粛が発生しているものの全体的に影響は軽微であり、円安の影響や渡航先としての日本人気を背景に旺盛なインバウンド需要が続いております。これらの取り込みを目指し、インバウンドツアーの受注、駐日大使館・協同組合への営業を強化し売上確保に注力いたしました。今後も各種ツアー催行、ツアー計画や仕入れ・新規顧客の獲得を強化してまいります。

また、株式会社エスプリ・ゴルフではテーマ毎の内容にこだわったゴルフ旅行・メジャーリーグ観戦ツアー・F1観戦ツアーや海外の名門ゴルフ場とのコネクションを活かした高単価ツアーを催行し、非常に好評を得ております。当期も看板ツアーであるマスターズ観戦ツアーを催行し、過去最高のツアー参加人数となりました。一方で中東情勢の緊迫化により2月・3月に催行予定だったドバイツアーを中止するなどアウトバウンドツアーに関しては限定的な影響が出ております。

以上の結果、売上高191,228千円(前年同期比19.3%減)、営業利益9,096千円(前年同期比47.6%減)となりました。

(その他の事業)

その他の事業セグメントにおきましては、2026年1月期より参入した不動産事業の収益化がスタートいたしました。引き続き、昨年6月中旬に取得した不動産用地で取得した系統用蓄電池施設導入のノウハウを基に、日本のゴルフ場が直面する遊休地の活用という経営課題に対する解決策を積極的に提案してまいります。

D X推進事業及びS E S事業を展開する株式会社ノアにおきましては、当社グループ内のD X推進・協働を進めてまいりました。特にA I活用研究所では新サービスの開発が順調に進行しており、近日中のリリースに向けて準備を整えております。今後も旺盛なI T需要・A I開発需要を取り込み、更なる売上の向上と優秀な人材確保強化、顧客への価値提供を行ってまいります。

以上の結果、売上高200,129千円(前年同期比138.9%増)、営業利益14,460千円(前年同期比298.4%増)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して81,764千円増加し、3,266,583千円となりました。これは主に売掛金の増加8,582千円、商品の増加69,075千円及び旅行前払金の減少41,538千円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して113,281千円増加し、2,224,946千円となりました。これは主に買掛金の増加6,250千円、短期借入金の増加150,000千円及び旅行前受金の減少42,015千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して31,517千円減少し、1,041,636千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益18,329千円の計上及び配当金の支払45,170千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの2027年1月期通期連結業績予想につきましては、2026年3月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	757,102	835,405
売掛金	372,963	381,546
商品	1,257,219	1,326,294
旅行前払金	207,540	166,001
その他	139,724	134,166
貸倒引当金	△212	△212
流動資産合計	2,734,337	2,843,202
固定資産		
有形固定資産	42,799	39,665
無形固定資産		
のれん	92,827	85,281
その他	39,452	36,633
無形固定資産合計	132,280	121,914
投資その他の資産		
その他	319,323	305,698
貸倒引当金	△43,921	△43,897
投資その他の資産合計	275,401	261,801
固定資産合計	450,481	423,381
資産合計	3,184,818	3,266,583
負債の部		
流動負債		
買掛金	245,060	251,310
未払法人税等	8,499	5,024
短期借入金	1,250,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	29,817	32,485
旅行前受金	225,774	183,759
その他	188,663	200,589
流動負債合計	1,947,816	2,073,168
固定負債		
長期借入金	129,335	119,364
資産除去債務	31,071	31,141
その他	3,441	1,272
固定負債合計	163,848	151,778
負債合計	2,111,664	2,224,946
純資産の部		
株主資本		
資本金	382,328	382,328
資本剰余金	374,819	374,819
利益剰余金	309,267	282,426
自己株式	△338	△338
株主資本合計	1,066,077	1,039,236
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,676	—
その他の包括利益累計額合計	4,676	—
新株予約権	2,400	2,400
純資産合計	1,073,153	1,041,636
負債純資産合計	3,184,818	3,266,583

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
売上高	1,202,785	1,191,501
売上原価	810,680	808,369
売上総利益	392,104	383,132
販売費及び一般管理費	373,995	361,475
営業利益	18,109	21,656
営業外収益		
受取利息及び配当金	578	910
受取補償金	100	400
その他	3,773	35
営業外収益合計	4,452	1,345
営業外費用		
支払利息	3,325	6,258
支払手数料	251	227
為替差損	—	51
その他	—	161
営業外費用合計	3,576	6,699
経常利益	18,985	16,303
特別利益		
固定資産売却益	—	1,616
投資有価証券売却益	—	7,862
特別利益合計	—	9,478
税金等調整前四半期純利益	18,985	25,782
法人税、住民税及び事業税	2,380	2,672
法人税等調整額	8,149	4,780
法人税等合計	10,529	7,453
四半期純利益	8,455	18,329
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,455	18,329

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
四半期純利益	8,455	18,329
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65	△4,676
その他の包括利益合計	△65	△4,676
四半期包括利益	8,389	13,652
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,389	13,652

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
減価償却費	3,575千円	4,312千円
のれんの償却費	7,546千円	7,546千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ゴルフ事業	トラベル 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	900,269	235,251	1,135,521	67,264	1,202,785	—	1,202,785
セグメント間の内部売上高又は振替高	198	1,608	1,806	16,504	18,311	△18,311	—
計	900,467	236,860	1,137,327	83,768	1,221,096	△18,311	1,202,785
セグメント利益	117,843	17,373	135,217	3,629	138,846	△120,736	18,109

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告メディア制作事業、SES事業であります。

2. セグメント利益の調整額△120,736千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ゴルフ事業	トラベル 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	829,286	191,197	1,020,484	170,980	1,191,465	36	1,191,501
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	30	30	29,148	29,179	△29,179	—
計	829,286	191,228	1,020,514	200,129	1,220,644	△29,142	1,191,501
セグメント利益	130,506	9,096	139,602	14,460	154,062	△132,406	21,656

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告メディア制作事業、SES事業、不動産事業であります。

2. セグメント利益の調整額△132,406千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。